



# 野鳥の 不思議解明 最前線 #101 文 植田睦之

© Japan Bird Research Association, 2014

さえずるミノサザイ。彼らも満月の日は早くからさえずるのだろうか？ 撮影●内田博

## 満月が鳥のさえずりを活発にする？

～マミジロスズメハタオリは満月の日早くからさえずる～

まだまだ寒いですが、ウグイスやヒバリのさえずりの情報が届くようになりました。みなさんの地域はいかがでしょう？ もしお聞きになられましたら、「季節前線ウォッチ」へお知らせください。

まだまだ寒いこの時期の鳥は、早朝よりも暖かくなった日中にさえずりはじめますが、繁殖期になると日の出前の薄明時に活発にさえずります。このさえずりはじめる時間が日の出時刻だけでなく、月や人工の光も影響しているのではということを示した論文をみつけたので紹介したいと思います。

月の影響を調べたのは、イギリスのYorkさんたちのチームです。マミジロスズメハタオリ *Plocepasser mahali* について調査を行なったところ、満月に近い時期は新月に近い時期と比べて平均10分ほど早くさえずりを始め、さえずっている時間も67%長くなることがわかりました。

満月の時にさえずりが活発になるとは言っても、月光ではなく、月の満ち欠けと関わる別の原因も考えられます。そこで、満月に近い時期でも、新月に近い時期でも月が早朝に沈んでしまっている日があるので、月が沈んでしまっている日の満月と新月でさえずりの活発さを比べてみましたが、その間では差がありませんでした。やはり満月の時にさえずりが活発になるのは月光の影響といえそうです。

人工光の影響はKempnaersさんたちが調べています。街路灯のある場所とない場所でさえずり開始時間を比べると、ロビン、クロウタドリ、シジュー

カラ、アオガラで街路灯のある場所で早く鳴きはじめることがわかり、さらに鳴きはじめ時刻の早い種ほどその影響が強いことがわかりました。

街路灯の影響は距離が離れるとそれほどでもなくなると思いますが、満月の光はかなり明るいですよ。鳥がさえずり始める薄明時の明るさよりも明るい気がします。そうすると、単に明るさに反応するのなら満月が出てきた時に鳴きはじめてもよさそうです。でも光の質を考えると月と薄明ではだいぶ違います。白々とした月光と赤みのある薄明。そういえば、一昨年の金環日食の時は、大して暗くなりませんでした。光の質が夜明けのように赤くなったためか、早朝のように鳥が鳴きだしたのを経験しました。こうした光の質も考えて研究すると、より鳥の鳴きはじめに影響する要因を理解できるのでは、と思いました。街路灯の影響を調べるのなら、そういう実験もできそうですよね。

街路灯は鳴きはじめだけでなく、繁殖時期等にも影響するそうです。次号ではそのあたりをご紹介します。と思います。

### 紹介した論文

Kempnaers, B., Borgström, P., Loès, P., Schlicht, E. & Valcu, M. (2010) Artificial night lighting affects dawn song, extra-pair siring success, and lay date in songbirds. *Current Biology* 20: 1735–1739

York, J.E., Young, A.J. & Radford, A.N. (2014) Singing in the moonlight: dawn song performance of a diurnal bird varies with lunar phase. *Biol. Lett.* 10: 20130970.